

2019年7月下旬・第2刷出来

白い夢

山田勇男 = 著

ひさしぶりに本物の闇に出会ったような気がした。
遠い昔に失われてしまった闇の世界が
白い夢に照らしてだされて光り出す。
私は骸骨の美女に恋をした。

……寺村摩耶子（エッセイスト、絵本研究者）

寺山修司主宰「天井桟敷」出身で、現在はヨーロッパを拠点に活動する映像作家・山田勇男による漫画を刊行します。同作は、2013年の「午前三時に蝋燭の火が蒼ざめる」（北冬書房『幻燈』13号掲載）以来、6年ぶりの新作となります。

本書のきっかけは、つげ義春公式グッズを手掛ける虹霓社代表の古屋と山田勇男が、つげ義春さんと一緒にしたとある席。「つげさんも中学生の頃、家に居るのがつらく、いつも通る高い塀のその向うに修道院があり、そこで暮っていた話をしてくれた」「その時の話のくだりで突然私は、修道院をモチーフに漫画を描きます、と、つげさんの前で勝手に宣言してしまった」（本書あとがきより）

白い夢



【封入特典】
寺村摩耶子エッセイ

本体 1500 円 + 税
A4 判 / 24 頁 / 2019 年 4 月刊
仕様：糸ミシン中綴じ（色：シルバー）
用紙：表紙＝コットン ミッドナイトブルー 291g
本文＝コットン スノーホワイト 116.3g



山田勇男（やまだ いさお）

1952年、北海道生まれ。74年、演劇実験室天井桟敷に入団。寺山修司監督作品映画の美術・衣装デザインを担当。77年、札幌にて早逝の漫画家・湊谷夢吉らと銀河画報社映画倶楽部を結成。稲垣足穂の『千一夜物語』をモチーフに製作した『スバルの夜』以来、現在まで8mmフィルムを中心に100本を超える作品を制作。国内外で特集上映が生まれ、作品は美術館や大学に収蔵されている。

劇場映画の監督作品は、『アンモナイトのささやきを聞いた』（1992：カンヌ国際映画祭招待）、つげ義春原作『蒸発旅日記』（2003）、『シュトルム・ウント・ドランク』（2014）。書籍に『星のフラグメント』（2003 / ワイズ出版）、『戯れ』（2008 / 北冬書房）、『人魚』（2013 / 同前）など。また、その独創的な描き文字はロゴに使用されるなど、根強い人気を誇る。（『MdN2018年5月号』インタビュー掲載）

◎DVD『山田勇男・湊谷夢吉共同演出 銀河画報社映画倶楽部全作品集』好評発売中！

山田勇男と漫画家の湊谷夢吉らが北海道札幌で結成した伝説の製作集団「銀河画報社映画倶楽部」の全8作品を待望のデジタル化
○収録作：「スバルの夜」「夜窓」「海の床屋」「家路」「銀河鉄道の夜」「巻貝の扇」「悲しいガドルフ」「ボエオティアの山猫」
○購入者特典（封入ハガキにて申込）：山田勇男氏による作品解説、作品資料、山田・湊谷両氏の当時のインタビュー・対談再録、寄稿エッセイ（須藤絢乃、渡部朝香、三角みつ紀、寺村摩耶子、星希代子、牧鼓、大宅加寿子）、スタッフコメントなどを収録した140P豪華特製ブックレット

¥5,500 + 税 | 204min | ISBN : 978-4-9909252-1-5

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX : 03-3721-1922**

mail : info@tsubamebook.com
TEL : 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）	虹霓社 既刊 http://kougeisha.net	
	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人	
ご注文数	白い夢	
ご担当： さま	冊	山田勇男 = 著
		本体 1500 円 + 税 / 24 頁 / A4 判・糸綴じ ISBN978-4-9909252-2-2 C0071